

地絡継電器のチェック項目リスト

ODG-S5 形

弊社の地絡継電器の不具合時、下表の項目をチェックしていただくことで、不具合要因を絞り込むことができます。

		項 目	方向性
			ODG-S5-A形 (屋外形) ODG-S5-B形 (埋込形) ODG-S5-C形 (露出形)
開 閉 器 側	1	V a - V c 間の抵抗 (トリップ回路の抵抗) (※1)	約 25 Ω
	2	V a, V b, V c 一括と開閉器アース間の絶縁抵抗 (500Vメガー) (※1)	10MΩ以下 : 要取替え 10~100MΩ : 精密点検要 100MΩ以上 : 異常なし
	3	Z 1 - Z 2 間の抵抗 (※1)	約 13 Ω 又は 約 5 Ω (気中開閉器) 約 27 Ω (ガス開閉器)
	4	Y 1 - Z 2 間の抵抗 (※1)	約 80 Ω
S O G 制 御 器 側	1	通常時 V a - V c 間に発生している電圧	DC 約 140 V (※2)
	2	トリップ信号発生時 V a - V c 間に発生する電圧	DC 約 140 V (※2)
	3	K t - L t に 0.2 A 流した時の Z 1 - Z 2 間の発生信号	AC 約 20 mV
	4	Z 1 - Z 2 間の抵抗 (※1)	約 100 Ω
	5	T - E 間に 190 V 印加した時の Y 1 - Z 2 間の発生信号	AC 約 380 mV
	6	Y 1 - Z 2 間の抵抗 (※1)	約 100 k Ω

外観 (参考)

ODG-S5 形
('13 年製)

不具合時の処置方法については、別紙『不具合時のチェック項目リストについての解説と処置方法』をご参照ください。

(※1) 抵抗測定と絶縁抵抗測定は、電線をSOG制御器の端子台から外した状態で実施してください。

(※2) V a - V c 間には、当該製品の自己診断機能 (引外し回路の断線監視用の微弱電流を通電) のため、常時電圧が発生しています。電圧測定に際して、正常時とトリップ信号発生時の区別が出来ないと思われますので、トリップ信号発生の確認は開閉器との連動動作を実施していただくことをお勧めします